



BE*BOY COMICS

学園へブン 中嶋編

GAKUEN HEAVEN NAKAJIMA ver. GAKUEN HEAVEN NAKAJIMA ver. GAKUEN HEAVEN NAKAJIMA ver.

原作 / Spray
／ 氷栗 優



学園ヘヴン 中嶋編

氷栗優 原作 / Spray



CONTENTS

学園ヘヴン Close to you

3

学園ヘヴン Come Rain or Come Shine

135

あとがき

183

“GAKUEN HEAVEN NAKAJIMA ver.”
Presented by YOU HIGURI / Spray



やば...

これじゃ
4日連続
遅刻だよ



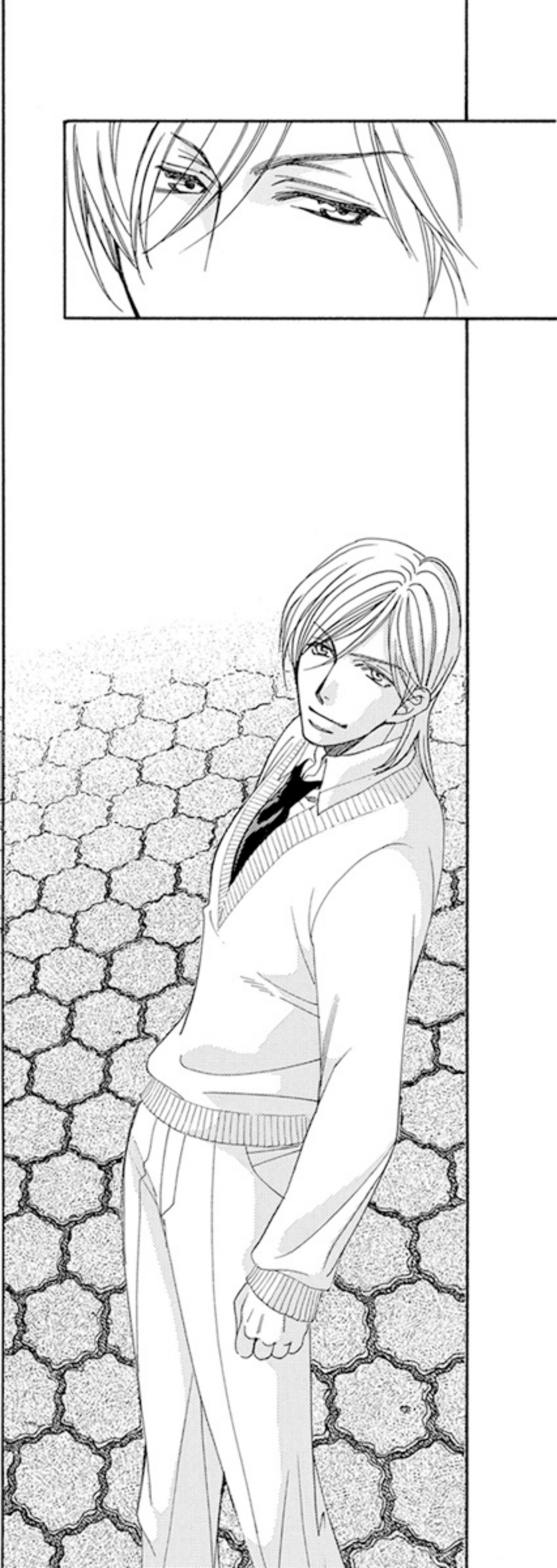
この学園の
門をくぐるのも…
—久しぶりだな



はあ..

—それが
嫌な訳じゃ
ないんだけど…

中嶋さんと
つき合うように
なつてから
いつも激しく
抱かれてる





中嶋さんは
いつも意地悪で

俺の都合なんて
お構いなした

やめてほしいって言っても
やめてくれないし——



今朝だつて
明け方近くまで
離してくれなくて

結局遅刻して
しまった



なんか俺あの人に
翻弄されつばなしで——

このままじゃあまりにも
つり合いが取れなさすぎ
だよ



中嶋さんは
俺のごと本当は
どう思ってるんだろ…



—やつぱり
カッコいいよな…

成績優秀で
スポーツ万能

この学園の副会長
：何でも完璧に
こなせる人

そんなすごい人と
俺はつき合っ
てるんだ…

あのひとと初めて会ったのは
生徒会室だった——

はじめは
知的なだけでいかにも
堅物っぽくて

——冷たく近寄り
難しい感じがした

その後
ウソをついて
王様をかばった事を
詰問されて

まさか
あんな事を
する人だった
なんて——つて

——その時は
とても悔しかった
けど……

いつしか

中嶋さんしか
見れなくなっていた



—どんなに



酷いことされても

あの人が目放せなくなる—
インプリンティングだ…なんて言っただけ…

いつも
意地悪な事言っ
俺の心を掻き乱す人



—でもいつか
助けてくれたんだ…

副理事に
俺がこの学園に
来たのは間違いだつて
言われた時も

1位を取れば
この学園に残る願いを
叶えてもらえるつていう
MVP戦に一緒に出て
戦ってくれた—

MVP戦の最中
こんな事を
言われた気が
するけど

あんしん
お前は
俺が守る

朦朧と
していて
よく覚えて
いない



あの中嶋さんが
そんな事
俺に言うはず
ないよな…

だつてあの人は
普通の恋人みたいに
優しくないし

甘い関係は
望めない……つて
知ってるから

それにはつきり
好きだ……つて言つてもらつた
事もない——

こら
どこを見てる
授業中だぞ

だめだ
こんな事じゃ

今は側に置いて
くれてるけど……

このままじゃ
中嶋さんに呆れられちゃう
かも知れない——

よう

伊藤

藤田

今から
部活か？

ああお前は？
このところ
放課後になると
いつも忙しそう
だな



そりや
ご苦労様

生徒会の
仕事を
手伝ってるん
だよ

あそこは
いつも人手が
足りなくてさ

けど
勇氣ある
よな

あの生徒会
メンバーと
フツーに喋ってる
もんなあ

え？



良くない噂？

近寄り難くって
怖いカンジだろ？

—それに
良くない噂も
聞くし

中嶋さん？

だってさ
まあ王様は誰とでも
フランクに話すから
いいとしても

問題はあの
副会長だな

ああ人から
聞いた話だけだな

なんでも副会長に
盾突いた部や同好会は
容赦なく潰される
らしいぜ

だから皆
副会長には
逆らえないん
だってさ

なんだよ
それ!?

知らないのか

先輩たちが
皆言ってる
だけ

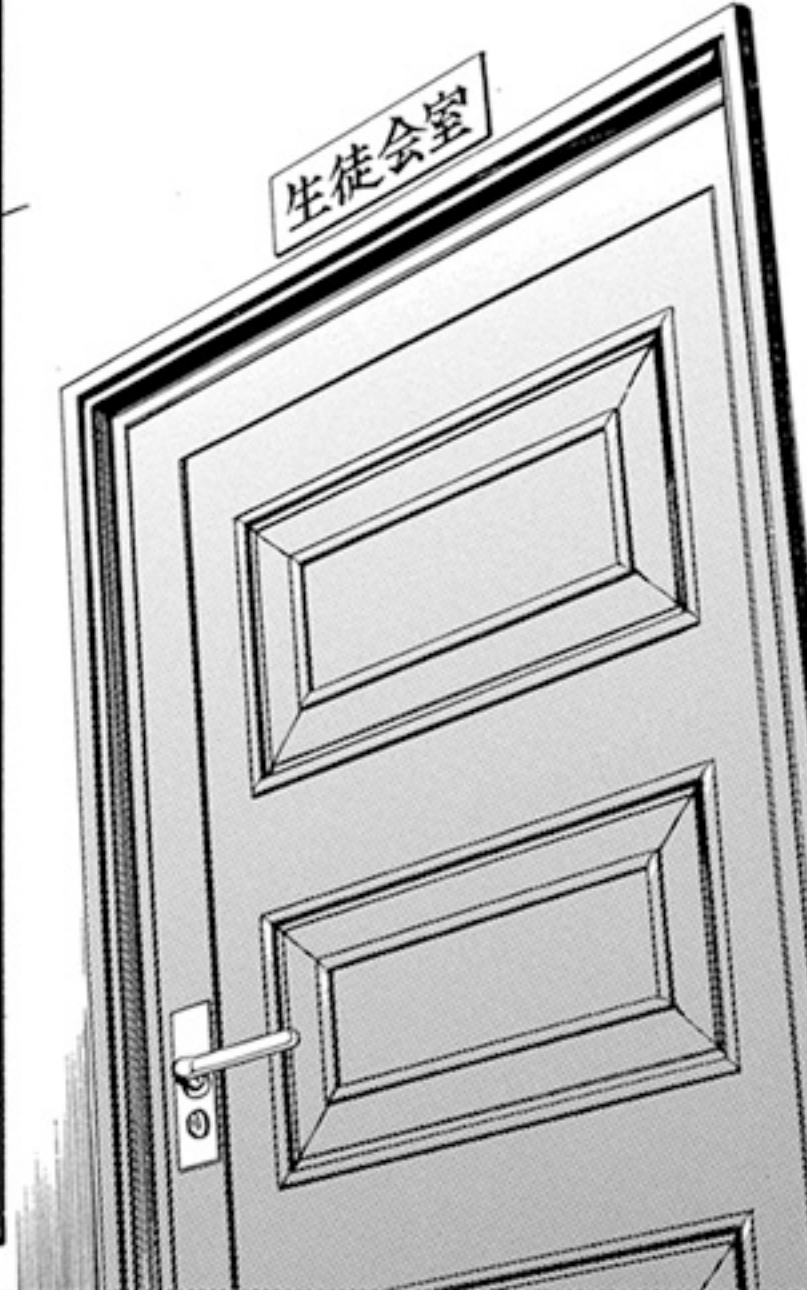
まあ
あの副会長だったら
やりかねないかも……
だな

藤田!

そんな事あるわけない
——中嶋さんに限って

いつもクールで
何を考えているのか
分からない人だけど

中嶋さんの
電ロヤ一な



誰が何と言おうと
俺はあの人を信じるんだ……！

